

自然が織りなす絶景に癒される

三重の展望台

多彩な自然に恵まれた三重県各地には、数多くの展望台があります。各展望台からは、輝く海に浮かぶ島々、連綿と続く山並など、日常生活では目にできない景観が広がり、私たちに感動と癒しを与えてくれます。また、時には、海や大空の向こうに暮らす人々とのつながりを感じることもあるでしょう。

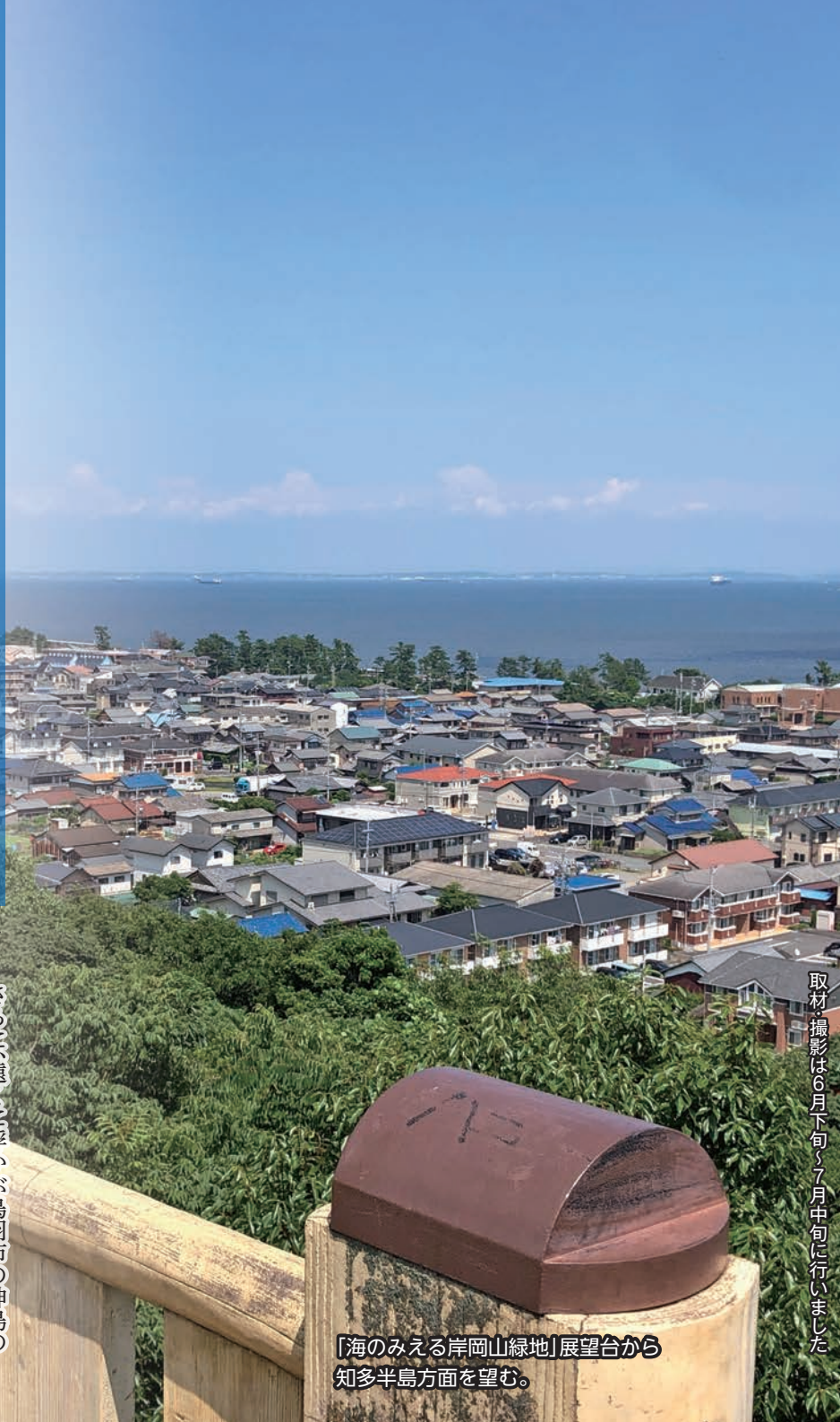
今回は、県内の展望台の中から6か所をご紹介します。ひととき、自然が織りなす造形美をお楽しみください。

*各展望台や周辺施設に関しては、開業時間・受け入れ人数・受け入れ方法などに違いがあり、状況に応じて休業している場合があります。また、関連するイベントに関しても同様です。事前に必ずご確認ください。

取材・文：中村 真由美 中村 元美 堀口 裕世
撮影：梅川 紀彦 尾之内 孝昭
中村 真由美 中村 元美

ただし※印の写真は取材先から提供していただきました

取材・撮影は6月下旬〜7月中旬に行いました



「海のみえる岸岡山緑地」展望台から知多半島方面を望む。

セントレアや鳥羽市の離島を眺望

海のみえる岸岡山緑地

〔鈴鹿市岸岡町〕

「海のみえる岸岡山緑地」は、標高約45メートルの岸岡山の豊かな緑を利用した都市公園。周囲一帯では、縄文・弥生時代から古墳時代にかけての古墳群も確認されていることから、園内にはその存在を示す標柱なども建てられています。

9.4ヘクタールと広い園内には、デイキャンプ（1週間前までに要予約）ができる「野外学習広場」をはじめとして、「古墳広場」「遊具広場」などが点在し、思い思いの過ごし方ができそうです。各広場は散策路（総延長約2キロメートル）

ル）によって結ばれ、木漏れ日を浴びながら歩けば、よい気分転換になるでしょう。

その名の通り、海のみえる展望台は「古墳広場」内にあります。展望デッキに立つと、眼下には市内の白子港や千代崎港、隙間なく建つ家並が手に取るように見え、まるで大きなジオラマのようです。目線を上げれば、伊勢湾の向こうに「知多火力発電所」や「中部国際空港」（通称セントレア）の各施設が確認でき、知多半島（愛知県）までの近さを改めて実感します。

さらに、遠くに浮かぶ鳥羽市の神島の三角の形を見分けることができました。

なお、季節や条件によっては、セントレアを離発着する旅客機が見えることもあるといえます。「海のみえる岸岡山緑地」で、あの飛行機はどこまで飛んでいくのだろうと、想像の翼を羽ばたかせてみてはいかがでしょうか。

お問い合わせ

鈴鹿市役所 市街地整備課
TEL 059-3382-9025



「古墳広場」内の展望台



「野外学習広場」内の
デイキャンプ施設

自らの足で登った後の、ご褒美絶景 多度山上公園

【桑名市多度町】



山頂展望台からの眺望

「上げ馬神事」や「流鏑馬神事」などで知られる多度大社を参拝すると、背後に多度山の姿を目にします。標高403メートルの山は、古くから神々が鎮まる山として仰がれてきましたが、近年はハイキングや登山コースが整備され、山

者や家族連れにおすすめなのは「眺望満喫コース」、最近人気上昇中なのが「健脚コース」と聞き、行きは前者、帰りは後者を選択してみました。

「眺望満喫コース」を歩いて気付くことは、道路が舗装されているために歩き

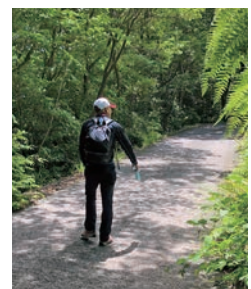
頂周辺から絶景も楽しめることから、人々に親しまれています。

多度山一帯を満喫するハイキングコースは9種類ありますが、山頂からの絶景を見るには、「眺望満喫コース」「健脚コース」「瀬音の森コース」を行います。その中で初心

やすいこと、途中に休憩所を兼ねた見晴台が複数設置されているため、水分・栄養補給をしやすいことです。見晴台によって見える範囲は異なります



「眺望満喫コース」からの眺め



「眺望満喫コース」

が、木曾三川(木曾川・長良川・揖斐川)の雄大な流れや、かつて河川が蛇行していたことを示す河跡湖などが展望できました。また、標高が上がるにしたがって景色が変化するのも醍醐味といえます。ただし、つづら折りの坂道の距離は約4520メートルあり、体力も消耗します。この日は、所要時間目安の約85分を15分オーバーして、山頂に到着しました。

山頂周辺は「多度山上公園」として整備され、頂上展望台からの眺望は格別です。木曾三川は河口付近まで見渡せ、正面には名古屋市の街地の高層ビル群が確認できました。この日は条件がよかったため、北東方面に御嶽山を望むこともできました。自然から与えられた、ご褒美のようでした。

同園で体力を回復させた後は、「健脚コース」で帰路へ。距離は約1680メートルと短く、麓の駐車場までの所要時間は45分程度でした。しかし、木の根が複雑に絡み合っている上に砂利が多いため、常に足元に注意することが必要

でした。途中の展望はあまりよくありませんが、時折、木々の間から光が降り注ぐ様子は神秘的で、巡礼道のような趣でした。



「健脚コース」

なお、ハイキング途中でトレイルランナーを複数人見かけました。トレイルとは未舗装道路のこと。林道・登山道・砂利道などの未舗装道路を走るのがトレイルランニングです。大変過酷ですが、自然の大きさ・変化を実感できることから、愛好者が増えています。多



「第6回多度山トレイルラン」※
(平成31(2019)年4月開催)

います。コースの具体的な距離や内容は、その都度変更されますが、来年の開催予定日は4月17日(日)です。体力・脚力に自信がある人は、挑戦してみたいかがでしょう。

お問い合わせ

多度町観光協会

TEL 0594-48-2702

「多度山トレイルラン実行委員会」

(桑名三川商工会)

TEL 0594-48-2627

「多度山上公園」



度山では、平成26(2014)年から「多度山トレイルラン」が始まり、本年4月には第8回が開催されました。「多度山トレイルラン実行委員会」事務局の伊原亜紀さんによると、回を重ねるごとに参加者が増え、今では全国各地から約1000人が集

伊勢神宮の鬼門を守る霊山から

朝熊山頂展望台

〔伊勢市朝熊町〕



「さんぽ道」からの眺め

朝熊ヶ岳は伊勢神宮の北東・良にそびえる霊山で、その標高は555メートル。頂上近くにいくつもの伽藍が並ぶ金剛證寺は、古く奈良時代にさかのぼる由緒を持ち、神宮の鬼門を守る古刹として知られています。この門前をとおって伊勢市と鳥羽市を結ぶ「伊勢志摩スカイライン」の中ほど、金剛證寺の東側の頂に「朝熊山頂展望台」があります。

ここにはいくつかの展望スポットが設けられており、海と山と平野と空が織りなす風景をさまざまに楽しむことができます。

ゲートから続く道を

入ると、右手（東側）にある石積みの上が「山頂広場」。志摩半島に続く山並と、伊勢湾の風景がぐるりと見渡せる爽やかな空間です。この石積みは、昭和36（1961）年まで伊勢市内を走っていた路面電車・「神都線」の敷石を再利用したもので、鉄道ファンや往時を懐かしんで訪れる人も多いとのこと。

この石積みの上にぽつんと立つ「天空のポスト」は、伊勢志摩地方で一番高い場所に立つ現役のポストです。懐かしい丸い形と鮮やかな赤が石や木々の風景の中に映え、撮影スポットとしても人気。恋人の聖地にも選ばれているそう、ここから投函した郵便物は、ロマンチックな思い出とともに配達されることでしょう。山頂売店ではオリジナ

鳥羽市方面を見下ろす

ル絵はがきや切手を販売しています。その先の大きな岩のそばにあるのは「日の出遥拝地」。この山は古くから日の出の名所として親しまれ、天候がよければ富士山も見えることから、お正月には初日の出を楽しむ人で賑わいます。この近くには御木本幸吉翁ゆかりの「御木本駕籠立場碑」もあります。

さらに海に近い場所にある「展望足湯」も人気のスポット。足を湯に浸しながら眼下に広がる伊勢湾の眺望を楽しめば一層爽快です（料金 大人100円／小人50円）。

中央にある建物は「山頂売店」と「お食事処 朝熊茶屋」。売店は伊勢志摩でしか販売されていない地酒など地元の商品を中心に品揃えも豊富で、ここからも伊勢湾の眺望を楽しむことができます。「朝熊茶屋」では「志摩うどん」「焼き伊勢うどん」などこの地ならではの名物が評判です。

建物の西側にある「朝熊山景観マップ」付近からは、神島や知多半島など遠景が見渡せ、伊勢平野が見下ろせます。伊勢の市街地を眼下に、海と山と空と平野が描き出す風景は、日中だけでなく夕

景も夜景もきれいです。

ここから海にむかって造られた「山上広苑」の先端「勘吉台」まで「さんぽ道」を歩くのもおすすめ。一周15分ほどのミニウォークで「勘吉台」からの景色は伊勢平野と伊勢湾の絶景を豊かな緑の中から楽しめます。

「伊勢志摩スカイライン」は通行料金が必要です。また、足湯などは営業時間が決まっていますのでご注意ください。

お問い合わせ

三重県観光開発株式会社
TEL 059-226-6752



「山頂広場」



「天空のポスト」



「日の出遥拝地」のそばにある岩



「展望足湯」

伊勢湾と太平洋・紺碧の海景を存分に

伊勢志摩国立公園パールロード

鳥羽展望台

【鳥羽市国崎町】



「兄弟酒」の石碑

鳥羽市と志摩市を結ぶ道として親しまれているパールロードは、全長23・8キロメートルのドライブウエー。リアス海岸特有の山と海が迫り合う複雑な風景を堪能できます。この道沿いにある「鳥羽展望台」は、標高約160メートルの箱田山山頂にあり、周辺は「箱田山園地」として整備され、散策路やいくつかの展望スポットが造られています。

ここから見える風景は、海。北・西側には伊勢湾、東・南側には太平洋が大きく広がります。伊勢湾の向こうには渥美半島や知多半島、伊良湖岬が見え、神島が

眼下に浮かんでいます。志摩半島も足元から太平洋に突き出すように一望でき、晴れて空気の澄んだ日は、遠く富士山や日本アルプスまで見渡すことができますという絶景です。



山口 誓子の石碑

富士山に並ぶ位置に海から初日が上がることから、初日の出の名所として知られ、元日の夜明けにはご来光を待つ人々で賑わいます。敷地内に立つ山口 誓子の石碑「差し出でて崎々迎ふ初日の出」の句のとおり、岬の連なる海岸線を照らす初日の光と影の風景は格別とのこと。

園地の中央は「食国蔵主」という名の観光施設となっていて、白い円形の建物は、「鳥羽展望台」のシンボルとされるレストハウス。この窓辺の展望席で、海の風景をゆっくり優雅に眺めながらの食

事もおすすめです。（使用料金一人一時間200円）。このエントランスホールには「絶景ストリートピアノ」が置かれ、自由に弾くことができます。海が見える窓辺のグランドピアノはひとときワマンチック。ぜひ演奏をしてみてください。

この建物の前には、海に向かって本の形をした巨大なモニュメントが置かれています。地元・鳥羽市出身の歌手、鳥羽一郎・山川豊兄弟にちなんで建てられた石碑で、地元の人々の思いの強さが感じられる大きさです。



レストハウス



「絶景ストリートピアノ」



広場の東屋と見晴台

レストハウスの横には「海鮮カフェはねやすめ」があり、海鮮丼やハンバーガーセットなど地元ならではのカフェメニューが楽しめます。ペットの同伴もできるとのこと、一部のメニューはテイクアウトも可能です。

「箱田山園地」内には散策のできる小径があり、駐車場を挟んで西側と南側の2か所に広場と木造の見晴台が造られています。ここはいつでも森の中から海の風景を楽しめる自然に包まれた場所。広場でお弁当など広げ、緑の中で海風を受けながらゆっくりすごしたくな

ります。見晴台上がれば雄大な海原が広がり、見渡す限りの水平線が地球の丸さを伝えます。目をこらせば遥かに浮かぶ船影も――。国崎から安乗崎や大王崎へと、海に向かって延びていく半島やその上をカーブを重ねながら続く道がジオラマのように見下ろせます。青く青くどこまでも続く海と空の風景を見に訪ねたい展望台です。

お問い合わせ

「伊勢志摩国立公園パールロード
鳥羽展望台（有）ノア」

TEL 0599-13316201



8 南側の見晴台から志摩半島を見下ろす

国立公園の情報発信拠点で英虞湾を一望 横山展望台

〔志摩市阿児町〕



英虞湾を一望する「展望テラス」のウッドデッキ

日本有数のリアス海岸美を誇る英虞湾は、湾内に真珠の養殖筏を浮かべる真珠のふるさと。幾重にも重なるように突き出た半島が複雑な海岸線を描き、約60の小島が点在する様は、まるでアートのようです。平成28(2016)年の「伊勢志摩サミット」開催により、世界中に広く知られることとなりましたが、この美しい海と緑からなる風景を標高140メートルの高さから一望できるのが「横山展望台」です。駐車場やトイレも完備され、手軽に自然との一体感が楽しめる国立公園内にあります。

志摩半島に広がる伊勢志摩国立公園は、伊勢神宮とその背後の森林環境を

有する内陸と、リアス海岸が展開する海沿いのエリアに、およそ6万ヘクタールの広大な面積を占め、昭和21(1946)年に指定を受けました。その中で「伊勢志摩八景」として推薦された一つが「横山の眺望」です。英虞湾を含む海沿いは、人々が手を入れることによって自然景観が維持管理される「里海」。漁業、農業、林業など人の営みと密接に関わりながら、景観や生態系をつくってきました。その景観を眺める「横山展望台」が整備され、平成11(1999)年には環境庁により「横山ビジターセンター」が建設されました。伊勢志摩国立公園の自然や文化について学んだり、季節の見どころや観光情報なども手に入るスポット。また「自然観察会」などを開催し、伊勢志摩のより深い情報を発信しています。この秋には展示や室



「あご湾展望台」からの眺め

内が新しくなります。「シアタールーム」は前面、左右の側面、床面の4方向から映像が見られる構造となります。国立公園の素晴らしい一層体感できるようになるでしょう」と同センターの事務局長・伊藤芳正さんは期待しています。

「横山展望台」は、伊勢志摩サミットの翌年にリニューアルされました。3つのテラスが木目の美しいデッキに生まれ変わり、それぞれから異なる景色が楽しめます。「展望テラス」「木漏れ日テラス」「そよ風テラス」と名付けられ、三重県産のヒノキを使用し、緑豊かな英虞湾とも調和しています。駐車場から一番



「横山天空カフェテラス」の2階



森林浴を楽しめる遊歩道



八大龍王などの祠や石碑が並ぶ



道標や説明板が設置されている



展示が充実の「横山ビジターセンター」

近い「展望テラス」までのアプローチは、なだらかな坂がつづら折りになっていて、ベビーカーや車椅子にも配慮したバリアフリー設計です。一面に空と海、見事なワイドビューが広がる開放感に溢れ、訪れた人々はその景色を前にカメラやスマートフォンを向けています。そして「展望テラス」の背後に伊勢志摩地域の食材も楽しめるカフェ「横山天空カフェテラス」もオープン。営業する「ミラドール志摩」には季節のドリンクやスイーツが並び、志摩あおさ豚を使用した「横山天空サンド」や「志摩産あおさドーナツ」など、テイクアウトでご当地メ

ニューが味わえます。カフェテラスの2階に上があれば目線の高さが変わり、景色はまた違った印象を与えてくれます。カフェテラスからは遊歩道を進みます。木々に囲まれた森林浴で、気分もリフレッシュ。テラスや展望台は高さや見える方角も違うので、一つひとつ回るとまたよし、各所には案内板が出ているので、迷うことなく歩けます。快適な散策と爽快な景色に、のんびりと国立公園の自然を満喫できるスポットです。

お問い合わせ

「横山ビジターセンター」

TEL 0599-44-0567

雄大な熊野灘と里山の緑に囲まれた
錦湾を展望
しお はま

塩浜山村広場（天紀町錦）



爽快な熊野灘の景色が広がる「塩浜山村広場」

「日本の道100選」に選ばれている国道260号は、峠を越える山道や海岸沿いに出る場所もあり、自然豊かな景色が広がっています。南伊勢町から紀北町へ抜ける途中に大紀町錦の集落があります。国道から逸れて海方面へ向かうと、里の山々が内海の錦湾を囲み、その海辺に所狭しと人々が暮らしています。錦の港は県内でも屈指の漁港。外湾の熊野灘では大型定置網や養殖業が盛んで、四季を通じて様々な魚介類が水揚げされています。

そんな様子を一望できるのが「塩浜山村広場」に整備された展望台や遊歩道です。熊野灘や錦湾を見渡す高台に1号、2号、3号の絶景ポイントがあり、1号広場までは車道が通じていて、錦湾の防波堤沿

いから車を走らせること約2分です。到着します。

1号広場

の東屋からは青く雄大な熊野灘とその向こうに熊野の山影が連なり、まさに息を飲む景色です。眼下には点在する小島や洋上を行き交う漁船、また地元で「ワリ」と呼ぶ養殖筏を望みます。1号広場下にあるのが塩浜で、森の中を海際まで降りる道もあります。

「塩浜山村広場」の1号から3号、そして集落をつないで一周する約8キロのコースが「近畿自然歩道」となっています。木々の間から見え隠れする海を眺めたり、四季折々の自然の草木を目にしたり、適度なアップダウンのある道を憩いのハイキングが楽しめます。また広場や遊歩道を含む海岸線や小島などの一帯は、昭和53（1978）年に「三重県錦自然環境保全地域」に認定されました。熊



遊歩道からの
錦湾と集落

野灘特有のリアス海岸や太平洋の荒波を受けて造られた海蝕地形があり、多種多様な温暖性植物が群落し、小島には多くの渡り鳥も飛来しています。

遊歩道入り口から少し歩くと、錦湾と集落を見下ろす場所に出ます。建ち並ぶ民家から一際突出した建物は大紀町錦タワーで、津波対策です。熊野灘に面した錦は津波の被害を受けやすく、その歴史が垣間見えます。

所々に「黒島展望台」や2号広場「潮騒の丘」など、一息つける東屋やポイントがあり、それぞれに見える景色は違っています。ウバメガシの群生する尾根を



1号広場の東屋前に駐車が可能



2号、3号広場に続く遊歩道入り口



ベンチも設置された「潮騒の丘」



大漁祈願で知られる錦神社



地元の小学生が描いた防波堤

に金蔵寺こんざうじが見えてきます。境内には安政元（1854）年の安政東海地震の「津波流死塔」と昭和19（1944）年の東南海地震の「大震肅災記念碑」があり、津波や被害の様相が津波教訓として記されています。

錦湾から集落を守る防波堤には、地元の小学生が描いたふるさとの風景。波静かな内海とほほえましい絵を眺め、外湾を見下ろす「塩浜山村広場」1号へと戻ります。

お問い合わせ

大紀町役場 商工観光課
TEL 0598-8612243